

クローバー

Clover



病院ホームページに
アクセス出来ます。



編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

2025.Jun. **vol.77**

理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1 患者さんの権利と尊厳を尊重し、患者さん中心の医療を推進します。
- 2 患者さんに信頼される質の高い医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、高度専門医療、救急医療、小児・周産期医療、災害医療および感染症医療を提供します。
- 4 地域連携を推進し、必要とされる医療を提供することで、地域・社会へ貢献します。
- 5 職員の教育・研修を推進するとともに、次世代を担う医療人を育成します。
- 6 チーム医療を推進し、経営の健全化と明るく働きがいのある職場をめざします。

目次

新年度を迎え、地域の皆さまへ向けて	1・2
医務局 緩和医療科	3
看護局 7階東病棟	4
医療技術局 薬剤科	5
患者総合支援センター	6
大佐和分院 / 君津中央病院附属看護学校	7



日本医療機能評価機構
認定第 JC295 号

認定第 JC295-5 号
一般病院 2
(3rdG:Ver.3.0)
2024.8.23 ~
2029.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

君津中央病院 附属看護学校 看護学生募集中

詳細は下記QRコードから
ご覧いただけます。



新年度を迎え、地域の皆さまへ向けて

いよいよ2025年度がスタートしました。
当院を担う各局の代表者からのメッセージを地域の皆さまへお届けします。



医務局長 駒 嘉宏

新年度を迎え、地域の皆さまに向けて。

令和6年4月から「医師の働き方改革」がスタートしました。

スタートする直前まで人材の確保や勤務形態の効率化など様々な準備が必要でしたが、それに伴い地域の皆さまには多くのご不自由をおかけしたと存じます。

またこの余波は地域の二次救急などを担ってくださっている医療施設にもおよび、当地域の救急診療体制にも少なからずの影響を及ぼしています。

このように大きな変化の中で迎えた新年度は、昨年度の経験を生かしつつ、新たな人材確保を得たことで、地域の皆さまに心からの信頼と安心をお届け出来るような充実した診療体制の構築に寄与出来ればと思います。



医療技術局長 児玉 美香

共育で患者さんも職員も笑顔に！

医療技術局は薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、調理師、調理員、臨床工学技士、歯科衛生士、視能訓練士、治験コーディネーター、公認心理師、医療助手の総勢289名で構成されています。高度医療に対応する多くの医療機器を管理し、患者さんが安心して治療に臨めるように日々技術の研鑽を積んでいます。

病院ホームページには養成校学生と有資格者向けの見学申込フォームがありますので、共に地域医療を支える仲間の応募をお待ちしています。8月には高校生見学会を開催し、地域に開かれた当院で、職員が笑顔で働けるように人材育成にも力を入れています。





看護局長 北 清美

看護局 理念

私たちはチーム医療において
質の高い看護を提供します
～心のこもったケアを～

看護局は800名を超える看護職員で構成されています。院内の最大組織ですが、結束力と行動力に溢れた組織だと自負しています。

私たち看護職員の最大の役割は、「診療の補助」と「療養上の世話」を通して、医療ニーズと生活上のニーズの両方を理解し、応えることで成果をあげることです。つまり、医療の視点だけではなく、生活の視点を持って「人」を看ることが私たちの使命です。そのために、看護職員それぞれのライフイベントや価値観に応じて、仕事と生活の調和を図りながら、専門性を発揮した看護が提供できるように自律的に学べる組織を目指しています。また、それぞれが看護職としての将来ビジョンを描き、その実現に向けて支え合える看護局でありたいと思っています。

これからも看護局理念「心のこもったケアを」を大切に、地域の皆さまに安心安全な医療、療養の提供ができるように取り組んで参ります。



継続性のある事務と組織の担保

木更津市にある本院と附属看護学校、そして富津市にある分院は、木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の4市が、各々で市立病院などの事務（＝仕事）を行うよりも一つの団体（＝君津中央病院企業団）で共同処理する方がはるかに効率良くできるものとして設置しました。それゆえ、4市の市民サービスの一部であるこれら3事業を維持・継続していくことこそが、私たちの最大の使命になります。

事務局は、3事業を支える事務方として人材確保・育成を重ね、働きがいのある職場文化を醸成しつつ継続性のある事務と組織を担保し、ひいては、地域の皆さまに安心いただけるよう3事業の維持・継続に尽力してまいります。



事務局長 小柳 洋嗣

外科医から緩和ケア医になって望むこと

私が医師になったのは1980年です。ついこの間のように思い出しますが、44年も前のことです。超音波検査やCTがやっと使えるようになってきた頃で、抗菌薬や抗がん剤も限られたものしかありませんでした。手術は「Great Surgeon, Great Incision」と言われ、大きく切る医者が優秀な外科医と評価されていました。それから44年が経過する中で医学は急速に発展し、検査方法、手術や薬剤などの治療方法が開発されました。神頼みだった医療はエビデンスに基づく医学となり、患者さん中心の医療は病気を中心とした医療に代わってきました。そんな中で2011年、手術にしか興味が無かった私は反省を込めて緩和ケア医に転身しました。

「空はいつでも青い」という言葉があります。黒い雲がやってきて雨が降ったとしても、何れ黒い雲は去っていきます。私達は、患者さんを診る時、この黒い雲ばかり診ていませんか？その向こうに何時も変わらない青空があることを忘れていませんか？患者さんを一人の人間として診ることを忘れて、病気だけをみていませんか？そして、「あの人は○〇だ」とレットテル張りをしていませんか？病気だけを診るのではなく、目の前にいる患者さんを色々な思いを持った一人の人間としてみることで大切だと思います。

私は、緩和ケアを始めた頃、患者さんの病態を評価して薬剤によって苦痛を緩和し、穏やかな最後を迎えられるように支援することが緩和ケアの本質だと思っていました。勿論、これも重要なことなのですが、緩和ケアの本質ではありません。患者さんと同じ目線でお話を聴き、患者さんの意向を尊重し、患者さんが主体的に自律できるよう支援してい

くことが尊厳を大切にする緩和ケアの本質だと思います。

命に係わるような病気で苦しむ人の中では希望と恐怖が渦巻いています。この相反する二つの感情は死の瞬間までグルグル回っています。そんな時に医療者が希望を取り上げたらどうなりますか、患者さんに残るのは恐怖と諦めです。短くてもいい、お話を聴く時間を持つことが医療者のできる患者さんへの最大の贈り物です（ナラティブアプローチ）。そこに医療者の意見は必要ありません。ただ

聴くことが患者さんに安らぎを与える力強いケアとなります。このような考え（ホスピスマインド）は、緩和ケアだけでなく医療全体に広がるべきだと思います。病院全体、さらに地域全体に浸透していくことが私の望みです。



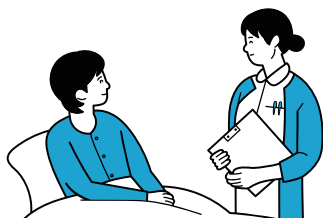
看護局 7階東病棟

病棟のご紹介

7階東病棟は、整形外科、皮膚科、糖尿病・内分泌・代謝内科、形成外科で構成される49床の混合病棟です。病棟スタッフは、看護師33名・看護補助者2名・夜間専従看護助手2名・クラーク（事務員）1名です。

4科の予定入院に加えて、臨時入院や緊急手術も多く受け入れています。予期せぬけがや疾患などで活動に制限が生じ不安や苦痛を抱える患者さん、慢性的な経過をたどり退院後も治療を継続していく必要がある患者さんに、寄り添った看護や療養支援が行えるよう日々取り組んでおります。

疾患によっては長期の入院が必要となる患者さんや、病気やけがをきっかけに直接自宅に帰ることが困難となる場合もあります。そのような患者さんの状況を把握し、少しでも安心して今後の生活を送るためにはどうすれば良いか検討するために、毎週多職種（医師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーションシオニスタッフ、入院



支援看護師、病棟看護師）合同でカンファレンスを実施して、退院後の生活を支援できるよう取り組んでいます。



カンファレンスの様子です。毎朝患者さんの状況について共有し意見交換を行っています。

今後とも安心して入院生活が送れるよう、手助けができるように、スタッフ一同研鑽に努めて参ります。



糖尿病教室やフットケア外来での活動も行っています。



病棟内の一室にリハビリを実施できる場所があります。医師の指示のもとリハビリスタッフと一緒に早期離床に取り組んでいます。

医療技術局 薬剤科

薬剤科の紹介

薬剤科は、薬剤師29名・助手5名と、この規模の病院としては少なく、この限られた人数で皆さまに安心安全な医療を提供するために、医師や看護師、その他多くの職種の皆さんと協力して、薬剤の適正使用の推進に努めています。

入院される患者さんへ

入院の際は、普段使われている薬を忘れずにお持ちください。

お薬の種類によっては、入院中の治療に影響が出ないよう、一時的に中止もしくは変更させていただく場合があります。お薬の継続・中止・再開は病院で判断させていただきます。自己判断で服用を続けていると、治療に影響を及ぼすことがありますので、必ず確認をお願いします。



なぜ薬が不足しているの？

2020年12月に発覚した後発医薬品（ジェネリック医薬品）メーカーの品質不正問題をきっかけに製造工程の不備が次々と明るみになり、多くの企業が行政処分を受けた影響で、今でも医薬品の供給が不安定になっています。さらに新型コロナウイルスやインフルエンザの流行による需要増加、薬価の引き下げに反する原材料の高騰、海外からの原料供給トラブルに加えて円安の影響などが重なり、現在でも抗生剤や咳止めなど多くの医薬品が不足しています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）を利用しましょう！

令和6年10月から、後発医薬品（ジェネリック医薬品）があるお薬で先発医薬品の処方希望される場合は、追加料金がかかるようになります。この追加料金は、先発医薬品と後発医薬品の薬価差の4分の1相当に消費税分を加えた金額になります。後発医薬品は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使っていただけのお薬です。ただし、処方医が治療上、先発医薬品の使用が望ましいと判断した場合などは、この対象となりません。医療費の増加が大きな課題となっており、将来にわたり国民皆保険制度を守っていくためにも、皆さんのご理解ご協力をお願いすると

ともに、この機会に、後発医薬品の積極的な利用をお願いいたします。

お薬手帳は1冊にしましょう

医療機関や調剤薬局では、お薬手帳を見せて、使われている薬を全て伝えてください。異なる医療機関で、一緒に飲んではいけないう薬をもらっているかもしれません。逆に類似した薬をもらっている可能性もあり、その場合はお薬を減らすことができます。余計な薬剤の使用は、金銭の負担となるだけでなく、思いがけない副作用を生じることもあります。

（薬剤科 大木健史、末政忠巳）



●患者総合支援センターの
入退院支援看護師を紹介します！

患者総合支援センターでは入退院をサポートする入退院支援看護師が勤務しています。入院前から退院後を見据え多職種と連携しながら支援しています。

入院が決まったら、入院前支援看護師が患者さんの生活状況をお伺いして、病棟へ連携します。入院後は病棟担当の退院支援看護師が患者さんやご家族とお話をして、医療ソーシャルワーカーとともに、医師や病棟看護師とも協働し、相談をしながら退院の支援をしています。

また、新生児科病棟では、適切な（小児患者の在宅移行に関する）研修を受けた5名が、令和5年度より入退院支援看護師として勤務しています。新生児科に入院したお子さんとそのご家族が安心して退院後の生活が送れるよう、入院時より病棟受け持ち看護師とともに、ご家族に寄り添いながら支援しています。さらに、院内・地域とも連携を取り退院後も継続して支援できる体制を整えています。

当院は、全入院患者の約半数が緊急入院で

あり、それまでの生活に急な変化が生じる方が多く入院されます。様々な状況においても、患者さんやご家族が少しでも安心して退院後の生活ができるよう地域の連携機関とも協働し、支援しております。

（患者総合支援センター 松村由美子）



がんサロン開催のお知らせ

がん患者さんやご家族が病気の悩みや体験を語り合うサロンを開催しています。他の患者さんはどうしているんだろうということがたくさんあると思います。多岐にわたる様々な体験や取り組みについて、先に歩む患者さんから知ることは、当事者同士だからこそ得られる深い共感、気持ちの救いになることがあります。がんサロンは、療養生活上の困難に対処するための、情報交換の場でもあります。繋がることで、生きる力になることもありますので、お気軽にお越しください。

日時	令和7年6月20日（金）、7月18日（金）、8月15日（金） 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場所	4階 講堂1 ※予約は必要ありません。費用無料です。
お問合せ先	電話 0438-36-1071(代) 担当：がん相談支援センター 保坂 まで

大佐和分院からのお知らせ >>>>>

予防接種

大佐和分院では各種予防接種（小児・高齢者肺炎球菌、带状疱疹、HPV など）を実施しております。予約が必要なワクチンもありますので、希望される方は事前にお問い合わせください。

人間ドック

予約にて承ります。お問い合わせください。当院では、上部消化管内視鏡（胃カメラ）は、経鼻内視鏡を使用しています。

国保・後期・社保の特定健康診査（特定健診）

木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市にお住まいの方の国保・後期特定健診、社会保険加入者ご家族の社保特定健診も承ります。受診券がお手元に届きましたら、ぜひご相談ください。

外来担当医表

最新の担当医表は、大佐和分院窓口または右記の QR コードからご確認いただけます。

お問合せ先

電話番号：0439-65-1251



看護学生募集

地域医療の未来を担う



君津中央病院附属看護学校



お気軽にお問い合わせください TEL：0438-53-8767
e-mail：kimikan@mqb.biglobe.ne.jp

採用
情報

現在、君津中央病院では一緒に働く仲間を募集中です。
採用中の職種等、詳細は当院ホームページよりご確認いただけます。
【お問合せ先】
事務局人事課採用担当 TEL 0438-36-1071（代）

採用情報は
こちら→



Information